

制定2020年6月27日

改定:2023年1月15日

宮古地区小学生バレーボール大会時の 感染拡大防止ガイドライン

宮古地区小学生バレーボール連盟

会長 漢那 則朋

選手の家庭で行う事

① 体調の確認

大会に参加する際は、以下の事を把握して下さい。

- 1) 当日の検温→37.5度以上(微熱)の場合は参加できません。
- 2) 大会前10日間における以下事項の有無を確認して下さい。

該当する場合は、大会に参加できません。

ア 平熱を超える発熱 前述1)同様

イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状

ウ だるさ、息苦しさ(呼吸困難)

エ 嗅覚(におい)や味覚(あじ)の異常

オ 過去5日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- ② 濃厚接触後、5日後にPCR検査→陰性 出場可
- ③ チーム内陽性者発生時、5日後にチーム全員PCR検査→陰性 出場可
- ④ 大会前日にチーム内で発熱者2人以上出た場合。
- ⑤ 家を出て体育館コートに入るまでは、マスク着用させる。

観戦する保護者で行う事

① 観戦する場合の注意点

- 1) 体育館入館時、消毒液で手指を消毒する。(各チームで消毒液は準備して下さい)
- 2) マスク着用する。マスク着用が無い場合は入館できません。
- 3) 応援は禁止です。静かに観戦願います。
- 4) 密にならないようにソーシャルディスタンスで間隔を空ける事。

監督・コーチ

上記①観戦する場合の注意点と同じ。

- 1) 部員の顔色が悪い、咳が激しい、動きが悪い、呼吸が荒い等通常との違いを観察しながら練習を行う。
- 2) 前述の状況がある場合は、練習から外し、保護者に連絡し退館してもらう。状況によっては、病院に搬送してもらう。
- 3) 部員に指示する場合は、マスクを着用する。(指示の無いプロトコール中はマスクを外しても良いこととします)
- 4) **大会当日チーム参加者で発熱者が発生した場合は、大会主催者へ報告する。**

選手が守る事

- ① 練習前・大会前に必ず検温してから参加する。風邪気味や体温が高い時は、練習に参加しない。
- ② 汗拭き用タオルは、個人用を持参する。他人の物は借りない。
- ③ 飲み物は、個人の水筒やボトルを持参し、他人の物は飲まない。
(体育館内の人全員です)
- ④ アイシングバックは供用しない。
- ⑤ マスク着用で体育館に来る。入館時、消毒液で手指を消毒する。
- ⑥ 試合中に外したマスクは各個人袋等に入れ保管する。※廃棄する場合は袋に入れ縛る
- ⑦ 体育館シューズ・リュック等は離して置く。
- ⑧ ウォームアップをする場合の注意点
(1) マスクは片付ける(熱中症予防の為) 2) ランニング時の掛け声はやらない 3) ストレッチは密にならないよう間隔をあけてから(両手を広げて接触しない程度)行う
- ⑨ パス練習時は、大声を出さないようにする。
- ⑩ 試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においても密集・接触を避ける。
- ⑪ 点数を取った時でもハイタッチは行わない。
- ⑫ ネット際での相手に向けた状態での発声は控える。
- ⑬ 試合開始時のチーム握手は行わない。アタックライン上で整列です。
- ⑭ プロトコール開始時のキャプテン・審判への握手は行わない。挨拶だけとします。
- ⑮ 試合終了後の審判への感謝は、挨拶だけとし握手は行わない。

参加チームで行う事

- ① 補助員のチーム記録係は鉛筆・消しゴムをチームで準備する事。
- ② チームスタッフは、試合後に記録席テーブル、イス・ベンチ用イス・点数掲示用イスを持参した消毒液で消毒しふき取る。
- ③ 体育館入館時、手指の消毒を行う。(各チームで係を決めておく)
- ④ チーム内のゴミは各チームで持ち帰る。※回収後は手洗い実施
- ⑤ トイレ使用時のドアノブ、水洗トイレのレバー等の消毒と手洗い
- ⑥ 大会終了後、会場を後にする時は自チームがいた場所の消毒を実施する。
(座席や手摺り等、接触の可能性のある場所)

事務局で行う事

- ① マイクはビニール袋で包む。審判用フラッグ握り部分は、試合終了後消毒液で消毒しふき取る。(各会場で係を決めておく)
- ② 各体育館入館時、運営関係者の手指消毒を行う。
- ③ 大会運営中の定期的な換気実施のアナウンス。

審判で行う事

- ① 使用したホイッスルの消毒及び管理(供用しない)
- ② 審判台及び接触力所のポール等の消毒実施。